

2015年度昭和大学英语

解答

1

- (1) D
- (2) A
- (3) D
- (4) D
- (5) B

い ourselves

(2)う until [till]

え that

(3)お concerned
か anything

(4)き pressure

く extend

(5)け in

こ with

(6)さ poverty

し obstacle

(7)す turns

せ cooking

(8)そ runny (running)

4

あ D

い E

う D

え E

お C

5

(1) B

(2) A

(3) with

(4) D

(5) E

(6)彼の調査は研究に使える犬の数によって制限されていたから (27文字)

(7)B・C・E

3

(1)あ pity

1

(1) D

D. arrow 「矢」 第1音節にアクセントあり。他の選択肢はすべて第2音節である。

(2) A

A. pneumonia 「肺炎」 第2音節にアクセントあり。他の選択肢はすべて第1音節である。

○telescope 「望遠鏡」

(3) D

D. happy のみ[i], 他の発音は[ɪ]である。○concrete 「具体的な」 ⇔ abstract 「抽象的な」

(4) D

D. singer のみ[ŋə], 鼻濁音（鼻から抜く音）を意識するとよい。hanger 「ハンガー」も同じ音である。発音問題において“singer が他とは違う音”として出題されることがあるので覚えておくとよい。他の発音は[ŋgə]である。

(5) B

B. blown のみ[ɒʊ], 他の選択肢下線部の発音は[ɒʊ]である。blow 「吹く, 風を出す」の過去分詞である。(blow-blew-blow) ○brown は「茶色」

2

(1) E

「キャロルは飛行機が嫌いである。本当にロサンゼルスまでのフライトを心配している」
be anxious about~ 「~に関して心配している」という意味である。be concerned about~
や be worried about~ と似たような意味である。about ではなく to 不定詞が続くと, be
anxious to do~ は be eager to do~ 「~したくてたまらない」と同じ意味になる。

(2) A

「私は喫煙を認めない。それは実に嫌な習慣である」 approve of~ 「~を認める, ~に賛成
する, 好意的に思う」という意味である。○disgusting 「胸が悪くなるような, 実に嫌な」

(3) E

「私は誰に助けを求めるべきかわからなかった」 ask A for help 「Aに助けを求める」 who
[whom] は目的格の疑問代名詞であり, 不定詞の内部は不完全文となる。who [whom] to
ask for help 「誰に助けをもとめるべきか」という意味になる。○ask A for help 「Aに助け
を求める」

(4) A

「あなたは自分の責任を受け止めなくてははいけない。まったく無視できない」 face up to~

「～を受け止める，～に対処する」が適切である。他の選択肢を用いて成り立つフレーズがあるので挙げておくと，look up to「～を尊敬する」⇔look down on～，catch up with「～に追いつく」，catch up on「仕事などの遅れを取り戻す」などである。

(5) B

「私達の犬はうるさい音が好きではないのです」「私達の犬も同じです」語順に注意する。Neither V S.となる。副詞の neither は否定文の後に続いて「～もまた～しない」と，1つ前に言った発言に対し，同じく否定する時に使う。Neither does ours. は Our dog doesn't like either.と書き換えできる。

(6) B

「もしもっと一生懸命勉強しなければ，試験に落ちるだろう」否定の条件を表す unless が適切である。ここで work とは勉強する意味である。○nevertheless「それにもかかわらず」

(7) D

「もしあなたが今彼女を見たならば，ほとんどわからないだろう」仮定法過去の文である。If 主語＋動詞の過去形，S would do～。「もし～すれば，～するだろう」という意味である。○hardly「ほとんど～ない」，○recognize「見覚えがある」

(8) B

「私達はとても長い距離を歩いたので，休憩をとらなくてはならなかった」such a＋形容詞＋名詞＋[that] S V「とても～な・・・であるので～」という意味になる。

(9) B

「それで，教会と政治にとっても共通点が多いということを考慮すると，前者が後者から学べる可能性があるのだろうか」given that～「～だとすることを考慮にいと」という意味である。この that は省略されることもある。○in common「共通に，共通で」，○former「前者」⇔latter「後者」

(10) E

「身体中かゆい。かゆみ止めの薬を飲むときでさえ，時々掻きながら目がさめる」という意味である。Even when～「～のときでさえ」という意味である。In case S Vは「もし～の場合には，～するといけないので」接続詞的に用いる。○itchy「かゆい」

(1) あ. pity い. ourselves

あ. It's a pity that S V 「～するのは残念だ」かなり残念なシチュエーションで使われるフレーズである。一般的に I'm sorry that S V の方がよく使われる。

い. enjoy oneself 「愉快地に過ごす, 楽しい思いをする」は, 具体的な事柄をあげない場合に用いる。一方, 具体的な事柄をあげるときは, enjoy ~ing 「～をして楽しむ」や enjoy + 名詞 「～を楽しむ」という言い方ができる。

(2) う.until [till] え.that

う. え. It is not until [till] ~that 「～になってやっとはじめて～する」は強調構文である。一番強調して言いたいのは until の後から that の前までである。そして that 以下をその説明として理解するとよい。“1911年だった” → “ビタミンの中で一番初めのものが確認された”

(3) お. concerned か. anything

お. As far as I'm concerned, 「私としては」, As far as I know 「私が知っている限りでは」というフレーズで覚えておくとよい。

か. Anything 「何でも」という意味である。

(4) き. pressure く. extend

き. blood pressure 「血圧」

く. extend 「(手足を) 伸ばす」

(5) け. in こ. with

け. こ. be in touch with~ 「～と連絡をとっている」という意味である。be 動詞の代わりに get を用いると, get in touch with~は 「～と連絡をとる」という意味になる。

(6) さ. poverty し. obstacle

さ. poverty 「貧困」

し. obstacle 「障害物」

(7) す. turns せ. cooking

す. take turns in / at doing 「交代で～する」 in と at は省略できる。

せ. 動名詞になるため cooking となる。

(8) そ. runny (running)

そ. have a runny nose 「鼻水が出る」, running でも正解である。

4

[対話 1]

Man1: その机, 動かすの手伝いしましょうか。

Man2: いいえ大丈夫です。自分で動かせます。

Man1: え, どうして。手伝わせて。私が手伝う為にここにいるのであれば, 一人で動かすことは意味がないですよ。

(あ) D, (い) E

(あ) 第一文の Would you like me to V~? 「~しましょうか」は, Do you want me to V~? と同じ意味になるが, より丁寧な言い方である。イギリス英語の Shall I V~? と置き換えることができる。

A 「いいえ, あなたは気にしないでしょう」

B 「ええ, あなたがそういうふうに見える限りは」 As long as ~ は時間的な範囲を表す。

C 「もしあなたが気にしないのであれば」

D 「いいえ, 大丈夫です」

E 「もちろん, ありがとう」

(い) 最終文にある if は, 基本的に条件を表すので, 「助けるためにここに私がいるのであれば」 というニュアンスが伝わる。

A 「私にはあまり興味がない」

B 「それはかなり助けになるだろう」

C 「誰も参加しない」 ○take part in~ 「~に参加する」

D 「そのポイントがわかる」

E 「~しても意味がない」 There 's no sense (in) ~ing. 「~しても仕方がない, ~しても意味がない」 この in は省略できる。

[対話 2]

Man1: その賃貸契約書にサインをする前に, 何か質問はありますか。

Man2: ええ, ペットを飼うことはできますか。

Man1: いいえ。それは無理です。誰にも許されていません。

Man2: そのビルの前に車を止めるのはどうでしょうか。

Man1: すみません。建物の前に駐車できません。

Man2: ああそうですか。

(う) D, (え) E

(う) ここで lease とは「賃貸契約, 借地契約」のことを表す。

A 「それは全て場合によります」 ○It depends 「場合による」

B 「間違いなくあなたはそうできます」 ○There is no doubt that 「～することに疑いはない, 間違いなくできる」

C 「欲しいときはいつでも」

D 「それは不可能です」 ○out of the question = impossible

E 「やがて」 ○in due course 「そのうち, やがて」

(え)

A 「あなたは, そうした方がよいです」

B 「あなたに～するよう勧めた」

C 「もしあなたが～するならうれしい」

D 「～しようと思わない」 ○intend to~ 「～にするもり」

E 「あなたは～してはいけないことになっている」 be supposed to~ 「本当は～にすることになっている」という意味であるが, 否定文では You are not supposed to smoke here. 「ここではタバコを吸ってはいけないことになっている」というように訳すとよい。

[対話 3]

M: もしかしたらいつ社長が到着するか知っていますか。

W: はい。知る限りでは, 2時30分に到着する予定です。

M: ふーん。なぜかそれより早いかと思っていました。

W: そうではないですよ。

M: 確かですか。

W: はい。間違いありません。2時30分に着きます。

(お) C

(お)

A 「彼が間に合ってちょうどここに着いたと確信しています」

B 「確かに彼はもっと早くここに来るでしょう」 Certainly 「確かに, 必ず, 確実に」とい

う意味である。

C 「確かです」 I'm positive.= I'm sure. 「絶対です，確信しています」という意味になる。
positive 「積極的な」という人の性格を表わすときは I'm a positive person. 「私は前向き思考だ，私は積極的な人間だ」という言い方になることが多い。

D 「そうは思いません」

E 「私は彼を容易には信じません」 ○skeptical about~ 「~について懐疑的である」

5

和訳

1995 年，ブライアン・ヘアは彼の犬，オレオが何を考えているのか不思議に思い始めた。

その当時，彼はアトランタのエモリー大学でマイケル・トマセロと動物心理学を研究していた。

当時知られていたのは，人間は他の人間からのシグナル（合図）にすばらしく敏感であることである。私たち自身で理解するのに奮闘するかもしれない諸問題を解決する為にその情報を用いるのである。

トマセロ博士は，われらの現存している最も近い親戚，チンパンジーが，典型的にこの社会的な情報の多くに気が付かないことを発見した。隠されたバナナの場所を指で指し示しても，たいていそのチンパがバナナを見つけることの助けにならないだろう，例えばだが。

しかし，ヘア氏は疑いを抱いた。「わたしの犬はそれをできると思う」と彼は宣言した。

指導教官を説得する為に，テニスボールを追いかけるオレオをビデオで録画した。そして実際，彼が左や右と指指しをしたとき，ボールを探すために示された方向に犬は走った。

彼はそれからガレージでカップの下に隠された食べ物を使いながら，本格的な実験を引き続き実施した。オレオはヘア氏がそれを指で示した後毎回正しいカップを選択して，他の犬（ヘア氏に会ったことがない犬を含めて）もまた成功した。犬たちは実際その指で示すテストに合格することができた。一方，野生の親戚オオカミはできなかった。

現在ノースカロライナ，ダーラムにあるデューク大学の助教授であるヘア博士は，犬の心を綿密に調べ続けてきているが，彼の研究は研究できる犬の数によって制限されていた。

そこで今彼は，世界中の犬を飼っているオーナーの助けをかりて，幾何学的に彼の研究を広めることを望んでいる。彼はドグニッションと呼ばれる新しい会社の主任科学担

当官であり、その会社は、人々が自分の犬の認知能力をテストし、彼らのペットについて学べるウェブサイトを作っているが、ヘア博士が願っているのは、彼と彼の仲間に数万匹の犬の科学的なデータを提供してくれることである。

「それは大きなデータなので、私達は、誰も見るチャンスがなかったような様々な質問を尋ねることができる」と彼は言った。

彼の以前の研究から、ヘア博士は、犬はいったんかれらの先祖たちが人間の昔の居住地をうろつき始めると、彼らのすばらしい社会的な知能を発達させたと主張している。彼と彼の妻、ヴァネッサ・ウッズは「犬の能力」という彼らの新しい本で説明しているように、自然淘汰が、人間の意図を理解することに長けた犬を好んだのだ。

しかしこの進化が犬に1つの認知する能力を与えた一方、一般的に彼らをさらに賢くはさせなかった。「もし個体として犬とオオカミを比較するならば、犬は愚か者のように見える」とヘア博士は述べた。「しかしもしそれからあなたがある人間がその問題を解決しているのを犬に見せると、彼らは天才なのです」

ヘア博士は、行動、繁殖と遺伝子、例えば様々な種類の認知スタイルが遺伝子と関連しているかどうかという長年の問題において解明するデータベースを作ることが彼の主な目的である、と述べている。

ヘア博士は、科学者たちが犬のトレーナーに犬の洞察力を伝える為にドグニッションを使えることができたなら良いと思っている。

1つの仮説がすでにドグニッションのユーザーたちから出ているとヘア博士は言う。犬における共感とごまかす為の策略の間に驚くべき関連が現れた。彼らの飼い主とのもっとも絆がある犬は、食べ物を盗む為にオーナーを観察する傾向がかなりあるとわかった。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- sensitive to 「～に敏感な」
- typically 「一般に、典型的に」
- persuade 「説得する」
- 第6段落第2文 And indeed, when he pointed left or right, off the dog would run, in the indicated direction, to find a ball. 「そして実際、彼が左や右と指で指し示した時、ボールを探すために示された方向に犬は走った」 off が前にでてきているがもともとは the dog would run off という語順である。
- run off 「走り去る」
- consistently 「連続して、堅実に」
- indicated 「指示された」
- probe 「綿密に調べる」

- constrain 「制限する, 制約する」
- geometrically 「幾何学的に」
- cognition 「認知」
- tens of thousands of 「数万の」
- argue that 「～であることを示す, 主張する」
- linger 「だらだら過ごす」
- early human 「古代人, 原始人, 昔の人」 ⇔ contemporary human, modern human
- settlement 「住居」
- figure out 「理解する」
- natural selection 「自然淘汰」
- idiot 「間抜け, 愚か者」
- breed 「名詞: 種類, 動詞: 繁殖する」
- genetic 「遺伝子の」
- insight 「洞察力」
- hypothesis 「仮説」
- emerge from 「～から現れた」
- deception 「欺き, ごまかし」
- bonded to 「～と絆が強い」
- observe 「観察する」

(1) B

第3段落第2文と第4段落に述べられている。BとCで迷うが、Cは彼の具体的な予測にすぎないのでBが正解である。

- A. 「自分で問題を解決すること」
- B. 「指差しするような社会的な情報に気がつくこと」
- C. 「隠された物の位置を指で指すこと」
- D. 「他の動物が隠された物を見つけるのを助けること」
- E. 「他人によって提供された社会的な情報について疑いをもつこと」

(2) A

第6段落のビデオで録画することの関連から考えると continue や maintain などの意味をもつ単語になればよい。従って follow up with 「引き続き～を行う」というフレーズが適切である。

(3) with

この部分を含むセンテンスの意味をまず考えなくてはならない。動詞 supply の主語は a

Web site である。カンマで挟まれている部分、Dr. Hare hopes は挿入されているだけである。「このウェブサイトが彼と彼の同僚たちに数万匹の犬の科学的データを提供することをヘア博士は望んでいる」という意味にしたいので、supply A with B 「A に B を配給する」より with を選ぶ。

(4) D

natural selection 「自然淘汰」は、the dogs that did a better job of figuring out the intentions of humans 「人間の意図を理解するよりよい仕事を行った犬たち」を好んだと考える。○favor 「～に栄を与える、～を好む」

(5) E

shed light on~ 「～に光をあてる、～が解明される」というフレーズがあるので覚えておくとよい。例文 Satellites shed light on global warming. 「人工衛星によって地球温暖化が解明される」

(6) 彼の調査は研究に使える犬の数によって制限されていたから (27文字)

直前の段落に述べられているように、犬の数を制限されていたので、「今彼は世界中の犬を飼っているオーナーの助けをかりて彼の研究をもっといろいろな方向へ拡大させたいと願っている」のである。

(7) B・C・E

- (A) 「1995年、ブライアン・ヘアは人間が他の動物からの合図に対してすばらしく敏感であることを発見した」テキストには other humans とあるので、誤り。
- (B) 「マイケル・トマセロによれば、チンパンジーは問題を解決する為に人間からのシグナル(合図)を利用することができない」第4段落第1文に一致する。
- (C) 「オレオは、ブライアン・ヘアが左や右を指で示したとき、理解した」第6段落第2文と第7段落第1文に書かれている。
- (D) 「ブライアン・ヘアが行った実験では、彼に会ったことのない犬は指で示して合図を出すテストに合格しなかった」第7段落第1文によると、合格できた。
- (E) 「ブライアン・ヘアは犬の素晴らしい社会的知能の進化が昔の人間との接触があると主張した」第11段落第1文と一致しない。
- (F) 「ブライアン・ヘアによると、個別に比較したとき、犬のほうがオオカミよりとても賢く見える」idiots と表現されている。
- (G) 「ブライアン・ヘアは、犬たちは人間に問題の解決方法を示すので天才だと信じている」テキストに記載なし。
- (H) 「ブライアン・ヘアは、様々な犬の種類の認知スタイルは遺伝子により決定されること

を証明した」第13段落を読むと、これからデータベースを作ることが目的であることがわかる。

(I) 「ブライアン・ヘアは、人間にそれほど感情移入しない犬は、より食料を盗む傾向がある」という仮説を示した」最終段落第2・3文に一致しない。

<出題された単語・熟語・文法>

- arrow 「矢」
- pneumonia 「肺炎」
- telescope 「望遠鏡」
- concrete 「具体的な」 ⇔ abstract
- blow-blew-blown 「吹く、～を吹き飛ばす」
- brown 「茶色」
- be anxious about~ 「～に関して心配している」
- be anxious to do~ 「～することを切望している」
- approve of~ 「～を認める、～に賛成する、好意的に思う」
- disgusting 「胸が悪くなるような、実に嫌な」
- ask A for help 「Aに助けを求める」
- look up to~ 「～を尊敬する」 ⇔ look down on~
- catch up with~ 「～に追いつく」
- catch up on~ 「仕事などの遅れを取り戻す」
- hardly 「ほとんど～ない」
- recognize 「見覚えがある」
- in common 「共通に、共通で」
- former 「前者」 ⇔ latter 「後者」
- even when~ 「～のときでさえ」
- in case S V 「～する場合には、～するといけないので」
- itchy 「かゆい」
- It's a pity that S V 「～するのは残念だ」 ⇔ I'm sorry that S V
- enjoy oneself 「愉快地に過ごす、楽しい思いをする」
- enjoy ~ing 「～をして楽しむ」
- enjoy + 名詞 「～を楽しむ」
- As far as I'm concerned, 「私としては」
- As far as I know 「私が知っている限りでは」
- blood pressure 「血圧」
- be in touch with~ 「～と連絡をとっている」

- poverty 「貧困」
- obstacle 「障害物」
- take turns (in / at) doing 「交代で～する」
- Would you like me to V~? 「～しましょうか」
- take part in~ 「～に参加する」
- There 's no sense (in) ~ing. 「～しても仕方がない, ～しても意味がない」
- lease 「賃貸契約, 借地契約」
- It depends. 「場合による」
- out of the question 「問題にならない, まったく不可能で」
- intend to~ 「～にするもり」
- be supposed to~ 「本当は～にすることになっている」
- by any chance 「ひょっとして, 万が一」
- I'm positive.= I'm sure. 「絶対です, 確信しています」
- I'm a positive person. 「私は前向き思考だ, 私は積極的な人間だ」
- skeptical about~ 「～について懐疑的である」
- sensitive to~ 「～に敏感な」
- typically 「一般に, 典型的に」
- persuade 「説得する」
- run off 「走り去る」
- consistently 「連続して, 堅実に」
- indicated 「指示された」
- probe 「綿密に調べる」
- constrain 「制限する, 制約する」
- geometrically 「幾何学的に」
- cognition 「認知」
- tens of thousands of 「数万の」
- argue that 「～であることを示す, 主張する」
- linger 「だらだら過ごす」
- settlement 「住居」
- figure out 「理解する」
- natural selection 「自然淘汰」
- idiot 「間抜け, 愚か者」
- breed 「名詞: 種類, 動詞: 繁殖する」
- genetic 「遺伝子の」
- insight 「洞察力」
- hypothesis 「仮説」

- emerge from 「～から現れた」
- deception 「欺き, ごまかし」
- bonded to 「～と絆が強い」
- observe 「観察する」
- follow up with~ 「引き続き～を行う」
- shed light on~ 「～に光をあてる, 解明される」
- take advantage of 「～を利用する」
- empathetic 「共感できる, 感情移入の」